

## 事業の背景・目的

平成21年より開始された環境省ヤンバルクイナ飼育繁殖業務において、NPO法人動物たちの病院の取り組みで様々な施策が行われて一定の成果が得られている。その中で、ヤンバルクイナの生息地域内での飼育下繁殖事業において、飼育・飼育下繁殖技術も一定の成果を得られているが、施設が1か所のみになり、感染症や自然災害等々による飼育下個体群の喪失が危惧され、危険分散の必要性が指摘されてきた。指摘されているリスクを回避する目的で、現在の飼育下個体群を他の地域に分散することにより、これまで沖縄県内で傷病野生鳥獣救護やその長期飼育・繁殖技術を有する当財団が分散飼育を行う

## 事業の内容

・実績報告書（別紙10-3）を基に、実施した事業結果の概要を簡潔に記載。事業が複数ある場合や、複数年度にわたる場合には、枠囲みを用いるとわかりやすい。

### 事業① 飼育技術向上・データ収集分析事業

- ・近縁種シロハラクイナ等を用いた飼育員の技術向上。ヤンバルクイナ導入後は、飼育上懸念されている、趾瘤症や呼吸器感染症予防に留意しつつ、飼育下環境への順化を行う。
- ・ヤンバルクイナ飼育繁殖マニュアル（那覇自然環境事務所）に準じながら、適切な飼育管理ができるよう、飼育員の技術向上に努める。また、飼育に関する科学的データを収集・解析し、ヤンバルクイナの保全に寄与する。

### 事業② 普及啓発事業

- ・生息域内の自治体と協力し、ヤンバルクイナの現状について県内外に普及啓発を行い、生息域内保全の推進に資するイベントを企画・開催する。

## 得られた成果

事業①については、文化財保護上の手続きも完了し、関係自治体と環境省の覚書も締結した。一方受け入れに伴う最終確認が、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できておらず、これが終了次第、令和3年度早々にも導入予定である。また、NPO法人どうぶつたちの病院からの情報提供で飼育場所の土壌にピートモスを敷き、感染症予防策を行った。近縁種シロハラクイナの飼育は継続しているが、問題なく良好に飼育できている。

事業②については、コロナ禍の影響とヤンバルクイナの導入が行えていなかったため、9月17の日にちなんだイベントを、沖縄こどもの国とNPO法人どうぶつたちの病院の共同で、園内とSNSライブ配信により講演会を行うとともに、園内に普及啓発ポスターを掲示し、来園者のみならず県内外のSNS視聴者に広く、やんばるの自然とヤンバルクイナについて普及啓発を行った。